



「お盆に老病死を考える」

慈光照護のもと、門信徒の皆さまにはますますご清祥にお念仏ご相続のことと慶賀に存じあげます。

お寺のブログではすでにお知らせしておりますが、7月23日のお昼ごはんは母に食事介助をしていて誤嚥させてしまい、救急車で搬送されて入院していましたが、8月10日にほぼ無理矢理退院させました。寝たきり一歩手前でした。私が京都の伝道院でお世話になった先生も末期がんの闘病中でしたが、10日に往生されました。私自身も還暦を迎え、物忘れも多くなり体もあちこちガタがきて動かなくなってきました。老病死をいよいよ自分のこととして感じざるを得なくなってきたことを実感します。私たち人間は、進化の過程で二足歩行をすることで大きな脳を獲得しました。この進化した脳は、さまざまな技術や文化も生み出しましたが、老いの苦しみ、病を得る苦しみ、そして、必ず死んでいかねばならないという現実を突きつけられて悩み苦しまね

本願寺新報お盆特集号をお届けしております。ご家族でお読みください。

ばならなくなりました。二足歩行をすることで腰痛や膝痛となり、頭が大きいために難産になるなどの、四足歩行の生物にはないデメリットも抱えることになりました。犬や猫が腰痛とか(人間が品種改良という名のもとに改変した犬種とかには当てはまらないものもありますが)聞いたことありません。牛や馬が難産とかも同じです。そして、人間以外の動物が、老いたくない、死ぬのは嫌だとは思っていないと思います。どの生き物もみな、ありのままに老いを、死を受け入れていると思います。

母の入院に関する詳細はブログにも書いていますが、誤嚥性肺炎による白血球などの数値は数日で下がりましたが、原因不明の熱が下がらないとのことできさまざまな検査をされ、認知症のために点滴を抜いてしまうことから常時手袋をさせられて拘束され、84歳という高齢で19日間も一度もベッドから降りることなく寝かされ、ほぼ口から食事を摂ることもなく、コロナで全く面会もできずじまいでした。今どういう状態なのかさえ、退院させないと確認することもできませんでした。たとえ健康な人であっても、19日間も点滴のみで寝かされ続けていたら、身体的には相当弱ってしまいます。

主治医の先生からは『胃ろう』や『中心静脈栄養』といった言葉も飛び出しました。入院させて

おくにはこれらの処置をしないといけないのかもわかりませんが、まさにそのことが現代の日本で200万人もの寝たきりの高齢者を作り出しているのではないのでしょうか。

無理矢理退院させた母はなんとその日からやわらかいレトルト介護食をしつかり食べることができました。ただ、翌日欲張つてデイサービスに行かせてしまったためか夜に発熱し、辛い思いをさせてしまいました。しかし足腰はすっかり弱ってしまい、ほぼ何もできません。高齢者にとつて19日間の入院は寝たきりとなるには十分すぎる時間でした。

おかげさまで住職はこれまで大きな病気も怪我もすることなく、60年という長い時間を生きてくることができました。とはいっても、あつという間の60年だったという思いがあります。特に学校を辞して京都の本願寺の住職課程に行かせていただいたから、もう15年も過ぎたことが驚き以外の何物でもありません。

諸行無常と聞いてはいるものの、家族の老病死を見届け、さらに引き続いて自らの老病死を受け止めていくことの険しさを実感させられた数週間でした。いのちの行先を阿弥陀さまにおまかせして、死んだらどうなる?と考えなくてもいいことだけは、私たち浄土真宗の門徒にとつて有り難いことだなあと 생각합니다。

「西光寺ホームページ開設！」

ついに西光寺のホームページができました!! 本当に長い間望んでいたことが、ようやく実現できました。まだあまりコンテンツ(中身)がありませんが、これから少しずつ成長させていきたいと思います。

実は任職は教員時代に、高校演劇関連のホームページを作っていたことがありますが、今から20年以上前の話です。そのときはパソコンのことだけを考えて作ればよかったのですが、今は『モバイルファースト』と言われる時代で、スマートフォンやタブレットでホームページを見る人の方が多い時代になり、隔世の感があります。これからはまず西光寺のホームページに来ていただければ、そこからブログにも公式Twitterにもお越しいただけます。寺報のバックナンバーもまもなく全部読むことができるようになります。URLは

2913923152.com です。福井・三

国・西光寺を全部数字で表現しました。ふざけているようですが大真面目です。結構覚えやすいものになっていると勝手に思っています。そして今回、ホームページ開設記念のオリジナルマスクをおつけさせていただきました。ぜひ装着していただき、新型コロナ感染予防と、西光寺のホームページ宣伝に活用してくださいませ。

「永代経が厳修されました」

去る七月六日(火)に当山の永代経を無事にお勤めすることができました。昼座にはこのコロナ禍にも関わらず、16名のご門徒

さまがお参りくださいました。仏説無量寿経(四十八願)のお勤めの後、奥田先生から阿弥陀さまのお話を伺いました。浄土真宗の阿弥陀さまはいつでも立っていらつしやいます。このお姿を『立撮即行』のお姿と呼ばせていただきます。煩惱の

海に今溺れようとしている私(凡夫)を今まさに救わんとされていらっしゃるお姿です。みなさまのお家のお仏壇にはお木像の阿弥陀さまは少ないですが、西光寺の本堂の阿弥陀さまを横から見るとなんと前傾姿勢でいらつしやいます。迷える凡夫を救うため、今にも飛び込もうとされているお姿といただきます。奥田先生は、陸上競技のクラウチングスタートと表現していらつしやいました。なるほど。安心して阿弥陀さまの御手の中に落ちていきましょ。



奥田先生のご法話を聴聞されるみなさま

「マスク・パネルについて」

お分けさせていただいたマスクの表面のプリントは任職の妹の嫁ぎ先(カーテンエフ)でもしてもらっています。カーテンエフでは左のような写真を布製のパネルに加工するサービスも行っています。もちろん、引き続きカーテンのご用命も承っております。大切な紙面をお借りしまして申し訳ないことでもあります。

新型コロナウイルスも連日過去最高の感染者を出し、これからどうなるのか見当もつきませんが、雨による被害も心配です。みなさま引き続き十分に気をつけてお過ごしください。気をつけすぎることはありません。

住職携帯 090-8967-7902
メール soichiro4989@gmail.com
ブログ 西光寺で最高時!

curtain f

ペットやお孫さん
ご家族の写真を
パネルにしませんか?

ファブリック

携帯電話やデジカメデータでも
プリントしたお写真からでも大丈夫です。

W20cm×H20cm×D2cm 価格2,000円